

## 「がんばれ」から 「楽しめ」へ

7名の新入生を迎えて、新しい年度が始まりました。校門の桜の花はすっかり散ってしまいましたが、校舎内には元気な生徒たちの姿があちこちで見られ、華やかな日々を過ごしています。今年度も元気な英田中学校になることを期待できそうです。

いつものことですが、年度初めに欠かすことができないのは、「1年の計は元旦にあり」です。もちろん元旦ではありませんが、年度初めには、年度末(令和6年3月)の自分の姿をイメージして、その思いを「目標」として、見える化する必要があります。それぞれの生徒にとって、大変大きな意味のある1年間です。自分が進むべき道筋を明るく照らし、貪欲に前進できる1年間にしてほしいと願っております。

さて、入学式では、「がんばれと言わずに楽しめと言おう」というお話をしました。これは、スペインのサッカーチーム「ビジャレアル」で、コーチ全員が子どもたちにかける言葉です。

日本では、「もっとできるはずだ」という思いを込めて「がんばれ」という言葉をついつい使ってしまう。しかしながら、子どもたちは、「がんばれ」と言われなくても必死にやっているはず。従って、その時に必要な言葉は「楽しめ」なのです。

中学校生活は、新たな挑戦の日々です。その時その時の活動は初めてのことが多く、どうすれば正解にたどり着けるのかは「暗中模索」です。うまくいくこともあれば、思い通りにはならないこともあるでしょう。しかし、失敗することも貴重な経験です。生徒たちが心地よく失敗するためにも、その一瞬一瞬を「楽しむ」ことが重要です。

英田中学校には「自分で考えてみる」と「共励和合」という言葉があります。お互いの思いを確かめ合い、協力し、集団の成長のために自分には何ができるかを考え、「元気で楽しい英田中学校」をつくってほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も我々教職員と共に生徒のみなさんの背中を押し続けましょう。

今年度もよろしく申し上げます。

### ありがとうございました

令和4年度末の人事異動で何名かが転任しました。それぞれの場所で活躍されることと思います。長きにわたりありがとうございました。